

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年02月01日

計画の名称	相模原市雨水対策基本計画（河川整備プログラム）（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）												
交付対象	相模原市												
計画の目標	「雨に強いまち」さがみはら（浸水被害の軽減・解消に向けて）												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	174	A	165	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	5.17	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R6末	R8末
1	・相模原市雨水対策基本計画に基づき浸水被害対策（河川改修）を実施する地域において、概ね時間雨量50mmの降雨に対して安全となる区域の面積を9.76k m ² （R4）から9.94k m ² （R8）に増加。 相模原市雨水対策基本計画に基づき河川改修を行う地域における、概ね50mm/h降雨に対して安全となる区域の面積。	9760千m ²	9850千m ²	9940千m ²

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費	費用	個別施設計画
		種別	種別	対象	間接							R04	R05	R06	R07	R08	（百万円）	便益比	策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
河川事業	A03-001	河川	一般	相模原市	直接	相模原市	都市基盤（1）	—	相模川水系鳩川（道保川） 都市基盤河川改修事業	L=80m 護岸、用地	相模原市	■	■	■	■	■	120		—
											小計						120		
											合計						120		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	0	28			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	0	28			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	0	28			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 相模原市雨水対策基本計画（河川整備プログラム）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。（相模原市総合計画、相模原市雨水対策基本計画）	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている	○

(参考図面)

